

組合の楽しい便り 投稿歓迎します。

No441

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

令和 4 年 6 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

第 56 回通常総会 3 年ぶりに通常開催

新理事に平山愛二郎氏(日本ラベル)を



平山愛二郎氏



第五十六回通常総会は、五月二十日(金)午後五時より、台東区池之端の「上野東天紅」に於いて開催され、各議案がすべて満場一致で可決承認されました。今回は新型コロナウイルスによって三年ぶりのリアル開催となり、第一号議案・令和三年度事業報告及び決算関係書類承認の件は、本間敏道専務理事が原案を朗読し、監査報告の後満場朗読し、満場一致で可決承認されました。

第二号議案・令和四年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件では、本間専務理事が事業計画と収支予算案を朗読し、満場一致で可決承認されました。

第三号議案・令和四年(日本ラベル社長)を推薦したいと承認を求めた結果、満場一致で承認され、総会は無事終了しました。

総会終了後午後六時より別室に於いて組合員・協賛会、報道関係者などが参加して三年ぶりに懇親会が開催されました。

最初に欠員理事の補充で新理事に選任された平山愛二郎氏(日本ラベル社長)が紹介され、続いて平山理事長が「三年ぶりに総会と懇親会をリアルで開催することができました。コロナの問題やウクライナの問題等課題は多いですが、少しづつ良くなっていくと思います。紙の値上げの話もありますが、何とかうまく乗り切りたいと思います。」と挨拶しました。

続いて協賛会会長の服部真氏(リンテック代表取締役社長)が挨拶に立ち「私が協賛会会長就任してからコロナ過で新年会、総会、年次大会も相次いで中止となり根大半の人たちには今月初めてお目にかかります。原材料の高騰によって紙の値上げもお願いせざるを得なくなりましたが、お互いに知恵を出し合おうまく

やっつけていきたいと思っております」と語りました。

この後藤井崇徳理事の音頭で乾杯をし、三年ぶりの懇親会のスタートとなり和やかな歓談が繰り広げられ、午後七時半過ぎに中締めとなり散会しました。

■令和四年度実施事業

1. 技術・環境対策委員会
新技術、新商品の積極的な開発と環境問題、リサイクル化に取組む

①ラベル関連ミニ機材展の開催

②RPF化によるリサイクル化事業のさらなる普及・啓蒙

③環境問題への取り組みとしてVOC削減に努力する。

④デジタルプリンターの将来性と課題について検討する

2. 教育・経営委員会

経営者と従業員の意識改革と、資質の向上を目的にした各種事業を実施する。

①人材の育成を目指した、経営者、従業員への教育支援「出前・出張講座」の実施

②環境対応へのシ-

ル・印刷グリーンプリンテ

イグ(GP)認定取得支援

③小規模・零細企業向けの簡易版事業継続計画(BCP)の推進

3. 広報・情報システム化委員会

組合員に対し迅速な情報の提供と、組合事業の広報活動を積極的にを行い、多様な情報化時代への対応をはかる。

①組合機関紙『ラベルニュース』のよりいっそうの紙面充実をはかる。

②組合ホームページの内容について、大幅な見直しとその活用方法の研究

③国や東京都などの新型コロナウイルス関連の金融情報、助成金情報の迅速な提供をはかる。

4. 福利厚生委員会

組合員および従業員の福利厚生に関する各種事業を行い、ゆとりと余裕のある労働環境構築に努める。

①従業員対象の働き方改革の徹底、有給休暇取得率のアップを図る。

②組合研修旅行とボーリング大会の実施など組合員、従業員を対象にした福利厚

生事業の充実

③育児休業や介護休業

法など関連法規の周知徹底。

5. 事業委員会

組合財政の基盤強化のために、副資材の共同購入と新たな事業収入の道を探る。

①雄型用紙等、副資材等組合取扱商品の使用方法をホームページで紹介

②組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

③組合取扱商品の拡大とPRに努める

青年部が総会を

今年度で休部決定

青年部(北島國芳部長)は、五月十九日(木)午後六時より組合会議室に於いて「第三十八回通常総会」を開催しました。

総会は事業報告、決算関係書類の承認、事業計画、予算案をそれぞれ承認しましたが、北島部長より「昨年度から報告している通り

部員数の減少により、これ以上存続していくことが困難となったため、残念なが

ら今年度で休部とさせていただきます」と報告がありました

した。

青年部は昭和五十九年

に発足し、初代部長に田中健二氏(フジタ印刷)が就任以来、他協組の青年部を

リードする形で活発な活動をしてきたが、ここ数年は部員数が減少し歯止めがからなかった。

特にここ一年半は新型コロナウイルスの影響で、活動もままならず、オンラインによる会合にも限度があり、これ以上の活動は難しいと判断し、今期限りで休部という苦渋の選択となったことが発表されました。

事業方針

①青年部の活動促進、部員相互の交流

②正札・神奈川青年部との研修及び交流

③定期的な勉強会・研修会の開催

④印青連・中央会を通じて同業種、異業種との交流

⑤webを通じた情報交換や交流・発信活動(SNS等)

⑥親組合との相互連携

日本ラベル「化石発見えほん」 「化石みつけ」を発売へ シールを使い遊び心満載

て博物館を完成させる、という二段階で遊べるしくみになっている。

クラウドファンディングにて、すでに先行販売予約が開始しており、通常価格より割引された価格で紹介されているので、**makuake** サイトを利用してほしいとしている。

コロナ禍によりお家遊びが増えた子供とのコミュニケーションツールとして期待されており、遊び方次第ではいくつものバリエーションがあり、親子との触れ合いにちょうどいいと人気を集めている。

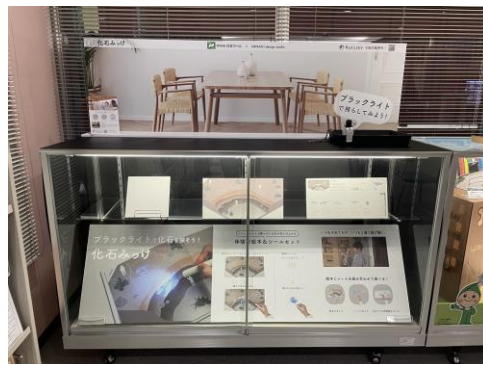
日本ラベルは昨年二月に東京ビジネスデザインワードにて、テーマ部門の優秀賞を受賞した化石発見絵本は **SANAGI design studio** と連携し試行錯誤してきたが、このほど商品化が実現した。

絵本の名前は【化石みつけ】と名付けられ、絵本に隠された化石をブラックライトで探して見つけ、見つけた化石について絵本で学べるようになっていく。

さらに付属のシールは、保護者が家のどこかに貼り、子供がブラックライトで探し、剥がしたシールは絵本の最後のページに貼り付け

③はくぶつかんを作るシールを見つけたら、剥がして絵本内の専用ページへ貼り、自分だけの博物館を作れます。化石みつけを通して、化石や科学の面白さを知ることができます。

「化石みつけ」は、板橋のハイライフプラザ板橋で展示されている。



ハイライフプラザ板橋で展示

化の保存をめざし、賛同者を募る声明のことです。二〇二〇年、マインツ（ドイツ）にあるグーテンベルク博物館が中心となり、発表されました。

デジタルメディアの進展によって、活版印刷の文化・技術は、急速に失われつつあります。マインツ市、ならびにグーテンベルク博物館は、これらの重要な技術が間もなく失われることに注意を喚起するために、マインツ・インパルスを発表しました。当館はこの宣言に深く共感するとともに、日本でも本活動を推進するため、「マインツ・インパルス」展を開催します。

会期・四月十九日（火）～七月二十四日（日）まで。
入場料・一般四百円
アクセス・東京都文京区水道一丁目三番三号 トツパン小石川本社ビル

印刷博物館企画展

マインツ・インパルス

印刷博物館では、現在企画展として「マインツ・インパルス」を開催中です。マインツ・インパルス (Mainzer Impuls) とは、失われつつある活版印刷文



「ふつうではない、心の病気の増加」

(有)TOOV 篠田 ちる

第一章 二十一世紀の

病気 その一

ヒトの病気のうち感染症は大きな割合を占めており、病気や探検といった人間ならではの振る舞いが感染症の拡散を後押しした。

抗生物質が普及した四

〇年代の一〇年を境に人類はこれまでの倍の時間を生きるようになった。二〇〇五年ヒトの平均寿命は、六十六歳で豊かな国では八〇歳という超高齢に届こうとしている。

病原体という手ごわい敵を制したが、地球上でひしめき合って暮らせば、病原体も暮らしやすくなる。ヒトからヒトへの移動が簡単になれば、繁殖し変異し変化する機会も増える。

病原体の繁栄はヒトの

繁栄感染症が減った理由（健康向上に寄与したものの）の鏡だ。①予防接種②医療現場への衛生概念の導入③病気になる人を減らそ

有病率の増加、注意欠陥障害やトゥレット症候群、強迫性障害も増加している。うつ病、不安障害もだ。心の病気がこんなに増加しているのは「ふつう」ではない。二十一世紀の暮らした十九世紀から二〇世紀にかけて四つの医療、公衆衛生イノベーションで様変わりした。

二十一世紀の病気が同じように様変わりするのはある意味当然だろう。二十世紀に急増している病気は「これまでであったが感染症の圧倒的な多さの陰に隠れていただけ」というようなタイプのものではない。これらの病気には共通点がなく、それぞれ種類の病気に見えるかもしれない。だが、アレルギーによるくしゃみや痒み、自己免疫疾患による日常生活の崩壊、肥満による自己嫌悪、消化器疾患による恥辱、心の病気による社会的排斥などを大局的にみると、これらの病気の攻撃標的がすべて自分自身だという点が浮き上がる。

感染症がなくなるとたんには自分の体が自分に向かうようになってきたのだ。肥満とアレルギー、過敏性腸症候群と自閉症のようには、まるで無関係に見える病態に何か関連性はあるのだろうか。感染症の代りにこうした新種の病気が現れたのなら、私たちの体がバランスを保つのに感染症を必要としていたということではないか。それとも感染症の減少と慢性疾患の増加の同時進行はもともと根深い原因を示唆しているのだろうか。そしてもう一つ、なぜこんな二十一世紀が出現したのだろうか。我が家の六番目と八番目の孫は、五歳で自閉症、三歳で軽自閉症と言われた矢先に末娘は三十一歳と一日で交通事故死、もう五年近く逢っていない。子育ての大変さを思うと心苦しい。子との縁が切れることで孫との縁も切れていくという現実はとてつらいものである。保育所で一組に一人は保母が付きつきりの保育が必要という現状、何かおかしくなってきたのだろうか。

■背中が痛いのは？

背中が痛む原因は、すい臓などの臓器に関わる病気や、骨の病気などさまざまです。背中が痛む場所によって、原因がわかる場合もあります。激しい痛みが続く場合、狭心症・大動脈解離など危険な病気の可能性

No186 健康がいちばん!

背中が痛む原因は実に様々

すい臓など危険な病気を疑え

もあるのです、放っておかずに早めに病院を受診することが大切です。背中に痛みが出る主な病気は次の通り。

① すい臓の病気

すい臓は「沈黙の臓器」と呼ばれています。早期発見できれば治療できるようになってきました。

慢性すい炎とは長い年月をかけてすい臓の組織を壊していく病気です。初期症状は腹痛や吐き気、進行すると体重が減少したり糖尿病を発症します。完治は望みず、すい臓がんのリスクは十二倍にもなります。

人によって多少違います。が、右手を背中にまわして手の甲があたる領域を中心とした痛みが多くみられます。「腰」の痛みと表現されることもあります。

飲酒後に突然の痛み 背中・肩周辺・上腹部などは原因としてアルコール性が疑われます。今後は禁酒を心がけることが重要です。

また、すい臓の負担を軽くするような食事のとり方にも気をつけましょう。

たとえば、脂肪を多く含む料理や一回に食べる食事は少なめに。またご飯やパンなどの炭水化物を消化するアミラーゼは、すい液以外に唾液にも多く含まれていますので、十分にかんでゆつくり食事するように心がけるとよいでしょう。

ある高齢者に多く、しりもちだけで折れることも、痛みがなく気づかないうちに圧迫骨折が連鎖すると背中が曲がって転倒しやすくなり、寝たきりのリスクが高まります。

③ 五十肩

五十肩の症状は肩や腕が痛んで腕が上がらない、衣服の脱ぎ着ができないなどがあげられます。四十代から五十代に最も多く発症し、特に糖尿病がある人はそう

でない人よりなりやすく、治りにくいことがわかっています。

④ 多発性骨髄腫

多発性骨髄腫は白血球がガン化する病気です。患者の約八割が訴える自覚症状が骨の痛みです。

⑤ 心臓や血管の病気

心臓から離れた場所が痛む狭心症「関連通(放散通)」は、主に体の上半身・左側に症状が出やすいのが特徴です。みぞおち、奥歯、のど、肩、腕、背中などの痛みは狭心症の症状かもしれません。

大動脈とは、心臓からの血液を全身に運ぶ、おおもとの血管です。大動脈は心層の膜からできています。大動脈解離では、まず一番内側の膜に傷ができ、その後亀裂から、血液が膜の層の間に入っていきます。

血液の流れ込む圧力によって、真ん中の層が裂けると、その間に血液が溜まっています。これが大動脈解離です。血液が溜まることにより、大動脈が破裂することもあります。大動脈が破裂してしまうと、病院に到着前に命を落とす患者数はなんと六割。破裂しなくても、治療をせずに裂けたまま放っておいた場合、発症後四八時間以内に五〇%、一週間以内に七〇%、二週間以内に八〇%が亡くなる非常に危険な気です。

大動脈解離では突然胸や背中

【参考資料】
<https://www.nhk.or.jp/>

リンテック(文京区小石川)の「三三八八」(七七六〇)はプラスチック使用量削減の観点から、独自のコーティング加工をすることで、ポリエチレンラミネート加工をせずに高平滑性を実現したグラシン紙ベースの剥離紙を開発。

従来のポリエチレンラミネート加工した剥離紙と同程度の平滑性を実現し、ラベルの透明性や意匠性の確保に寄与します。今回、この新開発の剥離紙を使用し、ラベル素材にアイテックをライナップし、五月九日か

グラシン紙ベースの新たな剥離紙

プラスチック使用量削減に貢献

透明タイプと蒸着タイプの環境配慮型

ラベルの裏側に台紙として貼り合わされている剥離紙は、ベースとなる紙にシリコーンと呼ばれる剥離剤を塗工することで、粘着剤面からきれいに剥がせるようになっています。粘着剤の種類や用途に応じた適度な剥離力はもちろん、印刷・抜き加工に対応するための厚みや強度、手作業または機械貼りに応じた性能などが求められる。

エチレンを使用せずに高平滑性を実現した剥離紙を開発した。特長としては、

① 脱プラスチック需要の高まりを受けて、ポリエチレンラミネート加工をせずに高平滑性を実現したグラシン紙ベースの剥離紙を開発。同剥離紙を使用した透明タイプと蒸着タイプのラベル素材をラインアップ。

② 剥離紙は当社独自のコーティング加工によって、従来のポリエチレンラミネート加工した剥離紙と同程度の平滑性を実現し、プラスチックの使用量削減に貢献。ラベリングマシンでの自動貼付にも対応。

③ 表面基材には使用済みのペットボトルを原料にしてつくられた再生PETフィルムを使用。再生PET樹脂を八〇%以上使用しながらも、非再生PETフィルムベースと同程度の物性を実現。

主な用途としては、化粧品や日用品、食品、家電製

品をはじめとする各種商品の表示用ラベルやアイキャッチラベルなど。

